

JRAT 活動報告書

平成 30 年 3 月

都道府県	大分	報告者	氏名 佐藤 友美	
団体名称／ 参加団体	大分災害リハビリテーション支援団体協議会（大分 JRAT）			
実施内容	<input checked="" type="checkbox"/> 組織化・連携の 動き	<input type="checkbox"/> 研修会実施	<input type="checkbox"/> 訓練等実施	<input type="checkbox"/> その他
実施日	平成 30 年 3 月 10 日	実施場所	アルメイダ病院	
概要	<p>【平成 29 年度 大分 JRAT 災害リハビリテーション ロジスティック研修】 発災し、自県が被災した場合の本部運営を学ぶことを目的とした研修会を実施した。9 月に開催したベーシック研修に倣い、座学に加えて実技研修を行う事で、より具体的に避難所支援のイメージを作る内容を企画した。（計 3 時間）</p> <p>講演1 「平成 28 年熊本地震における熊本 JRAT の受援体制とその心得」 講師:三宮 克彦 氏 医療法人社団 寿量会 熊本機能病院 総合リハビリテーション部 理学療法課 課長</p> <p>座長:山口 豊 氏 大分リハビリテーション病院院長 中部圏域大分地域広域支援センター センター長/ 大分 JRAT 世話人</p> <p>実技 避難所運営ゲーム(HUG)を通して 避難所の実際を学ぶ ファシリテーター:高嶋 一慶 大分 JRAT 事務局</p>			
所感	<p>三宮氏からは、熊本地震のご経験を通して、災害医療の基礎を含め、所属施設が被災した場合に起こることと、受援の立場となった場合の本部運営の実態を学ぶことができた。南海トラフへの備えの一つとなる、大変貴重なご講演をいただいた。</p> <p>実技では、グループ内で役割分担をし、次々と起こる課題を解決していくことや、情報を整理する経験になった。避難所を経験したことのない参加者がほとんどであり、災害を「自分事」としてとらえる有意義な時間となった。</p>			
今後の課題	<p>より実践的な実技、訓練の実施 ロジスティックに特化した研修企画の必要性</p>			
今後の活動予定	H30. 9 月に研修会開催予定			